

2024 年の幕があがりました。

1 月の館内では恒例となった美術の作品展「冬の陣」
がおこなわれています。このときばかりは図書館が
まるで美術館のような空間に変わります。
ぜひ多くの人に足を運んでもらいたいです。



■今月の新着図書から



『学びの技』 分類 002

登本洋子 / 玉川大学出版部

IB 校である玉川学園の司書さんや先生が中心となって、探究・論文・プレゼンのしかたについてまとめた「学び」の解説書。改訂された今回は、より深く「問い」を掘り下げられるように活用しやすくなっています。



『続 ふしぎ現象事典』 分類 049

「ふしぎ現象」研究会 / MICRO

「優しい女の子に意地悪する男子がいるのはなぜ？」という問いに対し、「それは反動形成です」など、1 巻に続き続編も明解にふしぎ現象を解説しています！



『イヌのキモチ解剖図鑑』 分類 645

マツト・ワード / エクスナレッジ

言葉を話せない犬たち。でもしぐさを細かく見ていると、ちょっとした動作で飼い主に気持ちを伝えていることがあります。この本では臨床動物行動学者の著者が、科学的に分析し、犬のココロを解説しています。



『成瀬は天下を取りに行く』 分類 913

宮島未奈 / 新潮社

とにかく奇想天外で我が道をいく成瀬。目標は天津市にデパートを建て、200 歳まで生きること。でも成瀬のキャラクターがわかってくると、本当にこの目標を達成しそうなのです。自分のことも相手のことも否定しない成瀬。すがすがしさを感じてきます！



『続 窓ぎわのトットちゃん』 分類 914

黒柳徹子 / 講談社

皆さんは『窓ぎわのトットちゃん』を読んだことはありますか？黒柳徹子さんの自伝として世界的ベストセラーにもなりました。最近アニメ映画化されましたね。トットちゃんののびやかな好奇心と周囲の人たちとの心温まる関係は健在です。



『水平線のかなた』 分類 933

ロイス・ローリー / KODANSHA

1941 年に日本のよる真珠湾攻撃を受けたアメリカの人々。そして1945年アメリカの原爆投下を受けた広島の人々。両国の声を紹介しながら、戦争がどれほど多くの人々の人生を壊したのか痛いほど伝わってきます。英語の原書もいれました。

下駄箱が新しくなりました!!

Before



以前は中の島のように通路中央にも下駄箱がありましたが、両壁に高さのある下駄箱を入れて、すっきりさせました。学年集会時の混雑もこれで避けられそうですね。組み立てを頑張ってくださった用務さんに感謝しましょう!

After!



● 1 月館内図書展示 美術の作品展「冬の陣」1 月 15 日～25 日

15 日から館内では美術の「冬の陣」がはじまりました。大型の油絵作品から、立体物まで充実した作品が並んでいます。早速鑑賞した人からは、「これ、家に飾りたいよ」という声もあがっていました。

実際に観ると細部までの表現に驚嘆します!「やっぱり絵画って直接観るほうがいいですね」という感想も。まだ観ていない人はぜひ会期中メディアセンターまでお越しください。



本棚 今年の元旦は北陸地方を震源とした大きな地震がおこり、二十日近くたった今も、水道や電気が復旧していない地域が数多くあるようです。一年でもっとも家族で団らんしている日にこのようなことが起こるとは……。本当に胸痛む思いです▼大きな震災といえば、二〇一一年におきた東日本大震災を思い出します。地震が起きた時はちょうど放課後で、館内では多くの人々がパソコンで課題をしていました。そこに突然大きな揺れがあり、すぐに生徒を机の下に潜らせ、高い本棚のエリアを確認しにいきました。すると生徒の一人が「司書さんも早く机の下に!」と声をかけてくれたのです。この震災後、高い書架はすべて工事をして床づけしたので、多少の揺れでは倒れることはないと思います。が、予測できないことはおこるものです。防災の意識は常にもって運営をしていきます(渡邊)